

第51回技術総合支援フォーラム

主催 NPO法人新現役ネット 技術総合支援グループ

共催 NPO法人新現役ネット 事務局



加速する設計と生産の分離 中小企業の取るべき対策

【講演概要】

現在、製造業の形に大きな変化が生じています。それは、設計工程と生産工程の分離です。半導体では、設計企業のファブレス化と生産企業のファウンドリ化になります。遅れながらも、日本の半導体産業にもこの流れが押し寄せてきており、現在進行中の自動車のEV化では世界的にこの流れが進もうとしています。

この流れが加速する理由は、経済的合理性です。設計をする企業は、ブランドを生み出しそれを育てます。一方、生産をする企業は複数の設計企業の製品の生産に集中し巨大化します。出版業界では、以前から企画編集と印刷製本の分離が行われていました。

過去に、日本の大手メーカーがこの経済合理性を軽視した結果、自社の半導体部門を消滅させてしまいました。現在、日本政府は台湾のTSMCの工場を熊本県に誘致し、そこを半導体の生産拠点とすることで、日本の半導体産業の再生を目指しているところです。

この流れは、日本の中小企業に大きな影響を与えます。特に、特定の設計企業の部品を集中して生産してきた中小企業は、大きな打撃を受けるでしょう。

本講演では、設計と生産の分離の傾向と他産業への波及を分析します。経済合理性の予測を行うことにより、これからの中小企業がとるべき対策例と企業の個性の活かし方について解説します。

【講師紹介】

1956年 東京大学工学部応用物理学専攻卒業、横河電機株式会社入社、研究開発部門所属。1972年東大工学博士

1975年 横河電機株式会社退職、東大工学部教授就任、計測工学、センサ工学の研究と教育に従事。

1985～88年 東大付属図書館長、1993年定年退官、横河電機株式会社入社、技術担当常務取締役、技術経営や品質保証を担当。1995～2000年 横河総合研究所代表取締役会長、現職は大河内記念会 理事長



日時：9月4日（水） 18:00 ～ 19:30

定員：会場：先着15名様
ZOOM：100名様

会場：会場とZOOMの両方で開催

※会場：東京都千代田区神田美倉町10番地
喜助新神田ビル4階（神田駅徒歩6分）

※会場とZOOMのご案内は別途ご連絡

申込み：E-mailで下記をお書き添えの上
お申込み下さい。

参加費：会場とZOOMともに無料

・件名：「第51回フォーラム」
・氏名、ご職業
・参加方法：会場 or ZOOM

講師：山崎弘郎 氏

▷ gforum2021@ml.gssg.jp